

科目名	栄養学	対象学年・時期	1年・後期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー3に基づく。生物にとって栄養を摂ることは、生命維持に不可欠である。現代の人間の食事形態は多岐に及び、人々の健康や食生活に対する関心も大きい。一方で、健康を増進する内容の情報が多々ある中で、健康を損ねるものも少なくない。対象者が健康な生活を送るために正しい情報を選択、サポートすることが看護者の役割とも言える。すなわち、栄養学を学ぶことは、対象者の病態や栄養状態を改善し、疾病の予防や治療、増悪・再発防止、健康増進としての支援に繋がることを意味する。発達段階や健康障害に応じた望ましい栄養摂取量の考え方、あらゆる生活の場での栄養摂取の在り方を学び、日常生活においての健康的な食事のサポートができるための看護について学ぶ。</p>		
授業形態	講義（演習を含む）		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の健康と栄養について理解できる</li> <li>2. 食生活や栄養状態の現状を理解できる</li> <li>3. 食物を栄養素レベルで理解できる</li> <li>4. ライフステージに合わせた適切な栄養管理について理解する</li> <li>5. 栄養と疾病の関連について理解する</li> <li>6. 食事指導を効果的に行う方法を理解する</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康と栄養</li> <li>2. 日常生活と栄養</li> <li>3. 食物と栄養</li> <li>4. ライフステージと健康教育</li> <li>5. 疾病と栄養</li> <li>6. 食事指導の実際</li> </ol>		
使用テキスト	わかりやすい栄養学（ヌーベルヒロカワ）第5版		
事前学習・事後学習 (学習を促進できる学修)	事前学習を基本とし、授業計画に示した箇所を読んでおく。また、随時資料を配布する。		
評価基準と評価方法	筆記試験で評価する		
備考	予習・復習を欠かさず行うこと。		